

# 長崎の林業

小曾根星堂書



作業班長会議及び安全衛生会議の様子（対馬森林組合）

9

## 目次

- 林政だより 農山村地域の安全・安心で快適な暮らしを守る治山事業  
～台風時期の災害に備えよう～…………… 2～3
- 特集記事 子育て世代と森を繋ぐ  
ながさき県民の森 所長 千年 義光さん…………… 4～5
- 林業普及だより 祝 特用林産功労者表彰 受賞！（島原市 本多木蠟工業所）…………… 6
- 地方だより・五島 五島森林組合 本所支所合同研修会 開催…………… 7
- 地方だより・対馬 未来の担い手確保に向けた取組…………… 8
- 林業団体情報 緑の募金で緑豊かな郷土づくり…………… 9
- センターだより スギの適地を評価できる（地形湿潤指数）地図を作成中！…………… 10
- イベント情報・松浦 2024「松浦子ども博in木育キャラバン」が開催されます！…………… 11
- 長崎の山と森 福江のナタオレノキ・小泊<sup>あまり</sup>のアコウ…………… 12

「長崎の林業」は、ながさき森林環境税を活用して発行しています。



2024 No.820

木づかい推進で地球温暖化を防止しよう！

ながさき森林環境税の取組についてはこちら→



森林ボランティアに興味のある方はこちら→



FREE

ご自由にお持ち下さい。

「長崎の林業」はこちらからもご覧いただけます→



林政だより

## 農山村地域の安全・安心で快適な暮らしを守る治山事業 ～台風時期の災害に備えよう～



五島市 奈留町 <sup>やがみ</sup> 矢神地区（治山事業施工事例）

### はじめに

近年、梅雨時期や台風時期において集中豪雨が頻発する傾向が高まり、これまでにない激甚な災害が発生しやすい状況にあります。

県内においても、「令和3年8月の大雨」、「令和2年7月豪雨」などにより、山腹崩壊や地すべり等が発生し、人命・建物・農林業関係に甚大な被害を及ぼしました。

特に本県は、年間降水量が1,895mmと全国平均の1,662mmより多く、また離島・半島部を多く抱え、<sup>きょうあい</sup> 狭隘な土地に集落等があり、山地災害が発生しやすい状況となっています。

こうした災害の未然防止と、被害を最小限に抑えるためには、山地災害の発生に備え、県民の方々に災害の恐れがある地区がどこにあるか知っていただき、早期の避難に繋げる必要があります。

### 農山村地域の安全・安心で快適な暮らしを守る治山事業

治山事業とは、森林の維持造成を通じて、山地災害から国民の生命・財産を保全するとともに、水源の<sup>かんよう</sup> 涵養、生活環境の保全・形成を図る事業です。県では、農山村地域の安全・安心で快適な暮らしを守るため、森林法に基づき、保安林に指定または指定見込みの森林についてその指定目的を達成するため、国の補助事業や県の単独事業により治山ダムを設置や森林整備などの治山事業を実施しています。



南島原市 南有馬町 <sup>おおめけ</sup> 大抜地区  
（令和6年5月の大雨による被災箇所）

## 山地災害危険地区について

県では、地形や地質、植生等の条件を踏まえ、森林の状態を評価し、人家、道路等の公共施設に被害が及ぶおそれがある地区を「①山腹崩壊危険地区」、「②地すべり危険地区」、「③崩壊土砂流出危険地区」として判定し、県のホームページ「長崎県総合防災ポータル」の総合防災 GIS<sup>※1</sup>に掲載しています。

梅雨や台風の時期を前に危険な箇所がどこにあるのか、災害に備えて普段から家族や地域で危険地区や避難場所、避難経路について話し合うとともに、実際に自分の目で確認しておきましょう。

## 自助・共助の意識を高めて減災！

災害を未然に防ぐためには、自らを守る自助と周辺の方々と協力し合う共助による自主防災が、最も効果を発揮します。

また、異常時の変化に気づく目を養うことも重要です。山地災害の兆候としては、図2に示すような現象のほか、不審音の発生が挙げられます。

山地災害の発生はいつ起きるか分かりません。近隣の山林などで異変を感じたらすぐに避難してください。災害が発生した場合は、すぐに「110番」か「119番」に通報しましょう。

(森林整備室 森林土木班)



図1 山地災害危険地区のイメージ



図2 山地災害の危険信号の例

※1 長崎県総合防災 GIS <https://www.bousai.pref.nagasaki.jp/>



今回ご紹介するのはながさき県民の森の所長、千年義光さんです。

### 治山の専門からながさき県民の森へ

千年さんは熊本県葦北郡出身で、山々に囲まれた自然豊かな環境で育ちました。親族が営林局に勤めていた関係で、子どものころから森林整備のお手伝いをされていました。その後、長崎県庁に入庁し、森林計画や自然保護関係、森林環境税の創設や長崎で行われた全国育樹祭等を担当されてきました。中でも地滑りや治山・林道事業に非常に長く従事され、昭和57年の長崎大水害の際には、県北振興局で勤務されていましたが、災害転勤で県庁に戻り対応を行うなど、治山の専門として活躍されてきました。そして2013年に定年退職後、長崎県治山林道協会で11年間務められ、今年4月にながさき県民の森の所長として着任されました。

### ながさき県民の森について

ながさき県民の森は、豊かな自然を体験できる入場無料の公共の森林公園です。敷地内には広大な森を有し、カシ・シイを主体とした天然林が71%を占め、ヒノキを主体とした人工林が26%、その他竹類などに分類されます。樹種は300種類以上の樹木が確認され、敷地内には2つのため池があり、溪流が敷地内を貫いていて、溪流遊びなども楽しめます。主な施設は、森林館、冒険広場・アスレチック、森の交流館、キャンプ場、木工館、芝生広場、森のつり橋、天文台などがあり、ユニバーサルデザインによるバリアフリー化を行っています。森林館内にはボルダリング・13種の木製遊具があり、木工クラフト体験もできます。

県民の森の森林館、アスレチックや天文台などの入場料は無料で、予約も人数制限もありません。また、快適なアウトドアライフを



ヒノキで作られた木のボールプール



ボルダリング体験

楽しめる有料のオートキャンプ場や一般キャンプ場、バンガロー等の施設も充実しています。

## 次の世代へ森のすばらしさをつなぐ

千年さんは今後の展望について、次の世代に森に触れ合い、楽しみながら森を知ってもらいたいと語ります。

「ながさき県民の森は、森林の様々な魅力やすばらしさを理解してもらい、次の世代を担う子供たちをたくましく育てるための自然体験・教育基地としての役割もあります。このため、県の子育て支援策の一環として、2024年3月30日にリニューアルオープンしました。利用者のアンケートをもとに、森林館前の芝生広場にクワガタ、カブトムシの木製オブジェ、木製ブランコなどを設

置し、2つの冒険広場アスレチックには、木製遊具11点の新設、森林館の中には、以前からあったボルダリング施設のほかに巨大木琴、六角タワー、ゆらゆら丸太、平均台など安全で安心して遊べる木製遊具を公園内で合計24点設置しました。森林館2階には、乳幼児も保護者の方と楽しめる絵本、木のボールプール、木製遊具を備えたキッズコーナーも設置しました。子育て世代の方が利用しやすいように、授乳室やオムツ替え室を備え、トイレも洋式化しています。まだまだ広報が足りない部分がありますが、リニューアル後の4月・5月は入園者が前年同月比15倍程度になり、たくさんの方にお越しいただいています。近日中に新しいパンフレットを配布しますので、より多くの方に県民の森を知ってもらい、足を運んでもらえればと考えています。」

リニューアルされ、多くの家族連れの利用者等で賑わいを見せるながさき県民の森。皆様も是非、足を運んでみてください。



冒険の森 アスレチック広場

(NPO法人地域循環研究所)

林業普及だより

# 祝 特用林産功労者表彰 受賞!(島原市 本多木蠟工業所)

## 特用林産功労者表彰 受賞について

多年にわたり特用林産の振興のために献身的な活動を続け、その功績が顕著な個人を日本特用林産振興会（会長：小淵優子氏）が顕彰する「第37回特用林産功労者表彰」で、島原市有明町で和ろうそくの原料「木蠟（もくろう）」を製造している本多木蠟工業所の本多俊一代表が表彰されました。



（表彰式での記念撮影。左から本多代表、小淵会長、代表の妻・美佐さん、長男・正孟さん）

特用林産物とは、きのこ、山菜、わさび、漆、木蠟、木炭など森林を起源とする生産物の総称で、今回は全国で18名の生産者が表彰されました。

## 本多木蠟工業所の取組

木蠟生産のみならず、和ろうそくづくりや絵付け体験等ができる体験型施設として開放していること、木蠟の原料となる島原原産の「昭和福燻（しょうわふくはぜ）」の植栽や島原農業高校とのコラボ商品開発（廃棄レモン果皮を使った和ろうそく「レモドル」）を行うなど、伝統を守りながら新たな挑戦をすることで、地域の振興に大きく貢献している点などが評価されました。

## 昭和福燻について

通常燻は蠟分が20%程度ですが、昭和福燻は蠟分が高く、30～35%程度含有しています。雲仙普賢岳の噴火で多くが消失してしまいましたが、この素晴らしい品種を守る

ため植樹活動を行っています。



販売されている和ろうそく

## 働く資料館

燻の実を蒸して原液を絞り出すために使う機械は、下の写真の玉締め式圧搾機です。溶剤などの薬品を使わず、臼状の道具に実を入れ、玉石を油圧で押し下げることで実をつぶして油脂を絞りだします。昭和12年に設置されたこの機械が見られるのは、全国で本多木蠟工業所だけで、まさに現役で働く資料館と言えます。歴史を実地で学ぶことができる貴重な場ですので、是非お越しになってはいかがでしょうか。



玉締め式圧搾機

（島原振興局 林務課）

地方だより

# 五島森林組合 本所支所合同研修会 開催

## はじめに

五島森林組合は、事業所が本所（五島市）と支所（新上五島町）の2か所あり、五島列島で唯一の林業事業体です。

令和6年7月4日～5日の2日間、五島市内にて、合同研修会が行われました。これは「魅力の林業づくり隊育成事業」（長崎県森林環境税事業）を活用し、事業体独自の研修として初めて開催されました。この合同研修会は、33名の従業員が参加し、今年度の経営方針やお互いに抱える課題・疑問を共有し、改善方法について議論しました。また、現場での講義では、作業技術の共有を行い、作業の効率化、技術力・安全性の向上を図りました。

## 1日目（座学）

五島森林組合長、県林務課（2名）が座学での講義を行いました。五島森林組合長からは、コンプライアンス（社会通念上守るべきルール）の講義、県林務課からは現場での工程管理の考え方や現場作業における連携の重要性、課題に対する考え方・解決方法等について講義しました。その後、グループワークを実施し、「労災対策の取り組み」「新人及び緑の研修生への指導方法」「作業員の業務の割当」等について活発な意見交換が行われました。



県林務課職員による講義

## 2日目（現場）

搬出間伐の現場（五島市増田町）にて、実際に本所の作業員が高性能林業機械で集材・造材作業を実演することで、本所・支所との造材・集材方法の違いや生産性向上のために作業で心掛けていることについて、意見交換を行い、お互いの技術を高め合いました。また、素材生産に欠かせない高性能林業機械ですが、メンテナンス不足による不調のため、生産効率が悪くなることがあります。そのため、高性能林業機械のメンテナンス方法やメンテナンスの時間をどう確保しているのか等の意見交換も活発に行われました。



高性能林業機械での集材・造材作業の実演

## 終わりに…

今回の合同研修会では、本所・支所の作業員同士の意見交換が活発に行われるとともに、現場での実演等とても有意義な研修会となりました。また、参加者からは「現場での考え方が共有できて、良い研修だった」との声を聴くことができました。今後も定期的に合同研修会が開催されることで、事業体の成長が期待されます。

（五島振興局 林務課）

## 地方だより

## 未来の担い手確保に向けた取組

## はじめに

対馬振興局林業課では、島内の林業関係者と協力して、地元の小中高生に林業という仕事を知ってもらうことや、将来の就職先の選択肢として林業を認識してもらうことを目的として、対馬の森林・林業の魅力伝える取組を行っています。今年度を実施した取組をいくつか紹介します。

## ◆厳原小学校

地元の仕事に関する理解を深めるため、ふるさと学習の一環として毎年職業講話が実施されています。今年は林業も参加し、林業の全体的な仕事内容や林業機械、現場作業員の一日の動きなど、動画を交えて説明を行いました。

参加した児童は、対馬の森林の特徴ややりがいなどについて積極的に質問していました。また、普段見ることのない森林内での作業に興味津々の様子でした。



厳原小学校 4年生への職業講話

## ◆厳原中学校

将来について関心が高まり始める中学生の時期に進路選択の参考とするため、各業界が集まり、仕事について説明する「お仕事セミナー」に林業も参加しました。

仕事内容に加え、現在対馬では高性能林業機械も多く導入され、安全かつ効率的に働くことができるようになってきていることなどを紹介しました。生徒の皆さんは、メモをとりながら熱心に耳を傾けていました。



厳原中学校お仕事セミナー

## ◆対馬市の高校生

林業関係の企業について具体的に知ってもらうため、島内3つの高校から約90名が参加したお仕事説明会に参加しました。林業関係の出展は、対馬森林組合と対馬木材事業協同組合となりました。生徒からは、企業の雰囲気や仕事内容について詳しく知ることができ、島内就職を考える上で参考になったとの感想が得られました。



高校生お仕事説明会

## おわりに

対馬は面積の89%を森林が占め、県内で最も活発な林業地の一つです。この対馬の林業を支えている林業専門作業員は約100人、若手作業員や女性作業員も活躍されています。

このような説明会が、林業という仕事を知ってもらう機会となり、林業を就職先として選ぶきっかけになることを期待します。

(対馬振興局 林業課)



林業団体情報 緑化推進協会の取組状況



### 令和5年度「緑の募金」実績

令和5年(R5.1.1 - 12.31)の「緑の募金」実績は29,257,526円となりました。ありがとうございます。皆様の善意は以下のように活用させていただいております。

### 令和5年度の活用状況

県民の皆様から頂いた「緑の募金」は各市町への交付金として、地域の植栽活動や緑化活動、また協会の事業として、県民の皆様による植栽活動や次世代を担う子供たちの緑化活動に助成を行っています。

#### ○市町緑化等交付金

市町毎の募金額から資材費を除いた内60%（総額1260万円）を各市町へ交付し、自治会など地域住民参加による公共用地の花苗植栽などの緑化活動に活用しています。



自治会による花苗植栽

#### ○幼稚園等による花苗植栽や園庭の芝生化

園児の緑化意識を芽生えさせるため助成しています。



園児による花苗植栽

#### ○県民参加の森林づくり事業

地域の団体等が実施する記念植樹等に対して助成しています。



ボランティア団体による植樹

### 新しい募金活動として、ソフトバンクの「つながる募金」を始めました



(QRコードから協会HPに入るとつながる募金のバナーがあります。)

(公益社団法人 長崎県緑化推進協会)

センターだより

スギの適地を評価できる（地形湿潤指数）地図を作成中！

研究の背景

長崎県では、主伐・再造林を推進しています。植栽を計画するときは、「適地・適木」（どこに、何を植えるのか）による「ゾーニング」（森林の重視する機能を見定めて、将来像と管理方針を決める）が必要です。長崎県内のスギの適地を評価し、長崎県森林クラウド上で活用できる地図の作成に取り組んでいます。スギの適地は、地形湿潤指数（Topographic Wetness Index 以下 TWI）をもとに作成しました。TWI とは恒常的な水の集まりやたまりやすさ等の地形条件による影響を定量化したモデルです。このモデルはスギの適地を評価する因子の一つとして報告されています。

研究の成果

長崎県全体で地形湿潤指数を算出し地図化すると図1のようになりました。

航空レーザ測量成果を用いて長崎県のスギ人工林を評価した結果、TWI「8」の場所で多く植栽されていました（図2）。スギの適地を地図化したことで植栽樹種を検討する際や、市町村森林整備計画のゾーニング等で活用することが期待されます（図3）。

今後も農林技術開発センターでは適地適木に関する地形湿潤指数以外の立地・環境因子を組み込んだ林地生産力地図の作成に取り組み、主伐・再造林の支援を行います。

（農林技術開発センター）

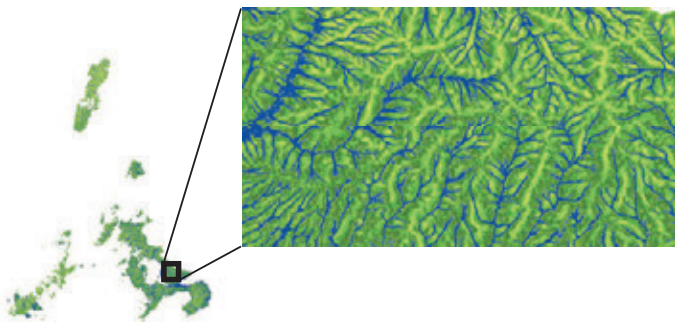


図1 10 mメッシュから作成した長崎県地形湿潤指数分布図

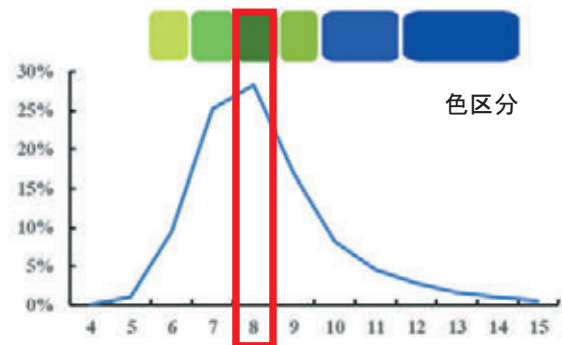


図2 地形湿潤指数別の長崎県内におけるスギ人工林の出現頻度と色区分

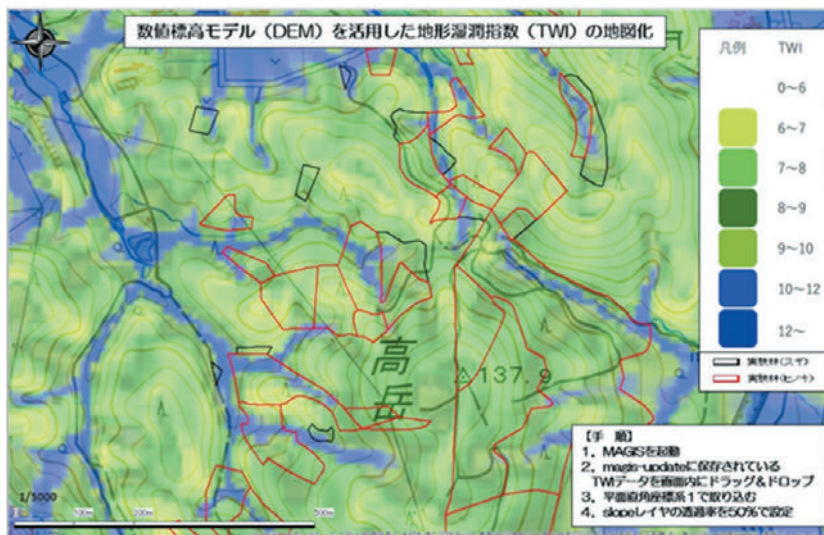


図3 長崎県森林クラウドでの地形湿潤指数マップの活用（当センター人工林の事例）

イベント情報

# 2024「松浦子ども博 in 木育キャラバン」が開催されます！

松浦市では、木育推進の一環として奇数年度に「木工体験教室」を、偶数年度に規模の大きい「木育キャラバン」を開催しております。今年度は11月と翌年2月に分けて「木育キャラバン」が開催されます。木の温もりを身近に感じ、森林の価値と重要性について見つめ直す機会として、今年度の「木育キャラバン」に参加されてみませんか？詳しくは、後日 SNS 等で開催概要が公開されますので「松浦子ども博」で検索してみてください。

【令和5年度の活動状況】

令和5年12月17日(日)松浦市文化会館において2023松浦子ども博の中で「木工体験教室」を開催しました。当日は子供たちを中心に約100組の参加があり、講師として長崎北部森林組合の方にご指導いただきながら、県産材の杉を使ったペンスタンドを作りました。子供たちは八角形の底板に3種類の長さが違う板を組み合わせ、仕上げに好きな絵を書いたり、シールフェルトで装飾しながらオリジナルペンスタンドを作りました。

短くて頭が丸い釘を打つ作業もあり、小さな子供たちにとっては苦戦する場面もありましたが、家族やスタッフの手伝いを受けながら立派に完成させていました。

またブース内には森林の大切さを紹介するパネルを掲示しており、私達の暮らしを安全で豊かなものに行っている森林の役割を知ってもらう良い機会となりました。

(松浦市 農林課)



## 伊万里木材市況

【ヒノキ】

令和6年8月現在

長さ	径級 cm	等級	高値 (円/㎡)	現在出荷量	現在引合	需要見通
4m	16 ~ 18	直	21,100	少ない	多い	普通
	16 ~ 18	小曲り	19,900	少ない	多い	普通
	20 ~ 22	直	21,000	少ない	多い	普通
	20 ~ 22	小曲り	19,800	少ない	多い	普通
	24 ~ 28	直・小曲り	20,500 ~ 19,500	少ない	多い	普通

【スギ】

令和6年8月現在

長さ	径級 cm	等級	高値 (円/㎡)	現在出荷量	現在引合	需要見通
4m	18 ~ 22	直	15,500	少ない	普通	普通
	16 ~ 22	小曲り	13,500	少ない	普通	普通
	24 ~ 28	直	15,500	少ない	普通	普通
	24 ~ 28	小曲り	13,500	少ない	普通	普通

※情報・お問い合わせは、伊万里木材市場 電話 0955-20-2183 まで

# 福江のナタオレノキ・おどまり小泊のアコウ

## 福江のナタオレノキ

ナタオレノキはモクセイ科の常緑高木で、沖縄を含め、九州、小笠原等に分布し、本県では男女群島、奈留、岐宿、中通島北部、平戸南部、対馬南部に見られます。

雄雌異株で、この木は雌株でとても珍しい株と言えます。毎年10月中下旬になると、純白の小花を咲かせ、芳香を放ちます。

ナタオレノキがある付近は、以前、唐人町と呼ばれた区域で、1540（天文9）年に中国（当時、明国）の貿易商であった五峯王直らが通商を求めて五島に来ました。当時の領主うくもりさだ宇久盛定は、一党に居住地を与え優遇しました。その地区が現在ナタオレノキのある区域です。近くには、彼らが道祖神を祀り礼拝した「みょうじんどう明人堂」や生活・航海用に使った「六角井戸」があります。

言い伝えによれば、五島藩から明国に使者が派遣され、その土産の一つだったこのナタオレノキを現在地に植えたとのこと。昭和初期までこの区域は福江川河港として賑わったそうですが、水害が発生し、河川改修のため川は埋め立てられその面影はなくなってしまい、ナタオレノキが往時の面影を偲ばせています。

明国と五島藩が交易し、繁栄していた時期を象徴する記念碑的な樹木と言えます。

所在地：五島市福江町

樹高 8 m 幹周 3.2 m



福江のナタオレノキ

## おどまり小泊のアコウ

アコウは、小泊漁港に近い民家の庭先にあり、その下を通る道に覆い被さるように伸びて道脇の広葉樹に絡みつくなどアコウ独特の雰囲気があります。ここで多くの人々は癒やされ、台風等の災害からも守られてきました。

このアコウが伐採されかけていたのを見て、当時五島で英会話教室を開いていたニコラス・サットンさんが私財を投じてこのアコウと家屋敷を買い取り、伐採から護りました。

その後、サットンさんはクラウドファンディングを募り、2023年6月に自然体験と語学学習ができるゲストハウス「あこうハウス」を立ち上げ運営されています。

アコウの保護に立ち上がったサットンさんの精神とその後の活用方法に多くの人々が賛同されたことで、人々の暮らしと巨樹との関係に注目し、保全していくことの重要性が浮き彫りになりました。

所在地：五島市小泊町

樹高 10.5 m 幹周 9.7 m



小泊のアコウ

長崎の林業 9月号 第820号  
編集・発行 長崎県林政課  
住所：長崎県長崎市尾上町3番1号  
電話：095-895-2988  
ファクシミリ：095-895-2596  
メールアドレス：  
s07090@pref.nagasaki.lg.jp